

# 平成25年度 学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

目指す学校像	たくましく社会を生き抜く力を育てる地域に開かれた進学校
重点目標	1 生徒一人一人の学力を伸ばし、大学進学等を一層推進する。 2 部活動や学校行事を通じて、豊かな人間性や健やかな心身を育む。 3 生徒・保護者や地域の信頼と期待に応える。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	9名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	教員の授業意欲は高く生徒の学習態度はよいが、家庭学習内容と授業の受け方に関する取組が求められる。	家庭学習など自律的な学習習慣の確立と授業改善	①家庭学習を促す具体的指導の企画と試行。 ②生徒の授業への取組態度の向上 ③研究授業、教科内研修を行うことでの指導力向上 ④企画委員会「学力向上部会」の有効的活用	①授業の工夫による家庭学習時間の3割増 ②家庭学習時間調査 ③チャイム着席の継続 ④公開授業週間に教員間の授業研究と教科研修を行う。 ⑤学力向上に向けての新たな方策を企画する。	①家庭学習時間は昨年度より増えた。 ②7月と1月の2回行った。 ③教室移動も速く、ほとんどの生徒がチャイム時に授業の準備ができています。 ④地歴、公民、英語、家庭科等で公開授業を行った。 ⑤具体的方策を検討している。	A 生徒の授業への取組状況は良好である。家庭学習時間は増えたが、ほとんどしない生徒もいる。この生徒を含めてどのようにして指導していくかが課題である。自律的な学習習慣の確立について各教科、学年、分掌等で検討した結果がまとまり、その具体化が来年度の課題である。
1	勉強と部活動を両立し、ほとんどの生徒が進学志望であるが、向上心やチャレンジ精神を持って取り組む姿勢に欠けるところがある。	進学指導・キャリア教育を充実し、生徒の意欲を向上させる。	①「一般受験対応クラス」の運営の充実 ②ガイダンス機能の充実 ③組織的な進学補習の実施 ④学年間の連携によるキャリア教育の実施 ⑤個別指導の工夫 ⑥「進路の手引き」の活用	①「一般受験対応クラス」の進路実績の向上 ②分野別ガイダンス年間5回以上実施の他進路体験発表会等の充実 ③進学補習年50講座以上の開設 ④キャリア教育の視点で、進路指導を実施 ⑤個別の進路相談、補習、面接指導の充実 ⑥総学で「進路の手引き」を活用	①一般受験はこれから受験を迎えるが、受験に向けた取り組みは進んでいる。 ②外部講師を招き、総学等の時間も活用しながらガイダンスを実施することができた。 ③延べ講座数は48だったが、それ以外に面接指導や小論文指導を数多く行った。 ④⑤推薦入試は2学期を中心に充実した指導を行うことができた。 ⑥推薦入試の基準、評定平均計算などを活用した。	A 進学希望者の数は多いが、全体的な取り組みは遅い。自発的な学習に取り組んでいる生徒もいるが、全体的には受け身型の生徒が多い。各自の将来についても目標を持たせ、それに向けて学習するようなキャリア教育の充実が求められる。推薦入試など安易な進路選択が多く見られたが、いかに学習させるかがこれからの課題といえる。
2	部活動や学校行事等に熱心に取り組む生徒が多い。チャレンジ精神の高揚と安全教育の取組が求められる。	部活動の活性化と規律ある態度の徹底	①部活動指導の一層の充実 ②学校行事の充実と発展 ③遅刻指導と清掃指導の徹底 ④ルールとマナー指導の徹底 ⑤アルバイトの制限の指導 ⑥安全指導の推進	①1年生全員加入と定着率の向上 ②文化祭等行事の自主的運営 ③昨年度比遅刻指導生徒減 ④服装等違反者「0」と登下校時の安全指導の充実 ⑤アルバイト許可の際の厳正なチェック ⑥自転車安全指導の徹底	①1年生の10月調査の部活動加入率は、今年度も95%で定着率は良い。 ②学校行事の生徒満足率は高い。 ③昨年度遅刻指導生徒5名、今年度は1月現在11名である。 ④職員による校門指導を年5回実施し、服装違反等を指導した。 ⑤アルバイトは厳正に審査のうえ許可している。 ⑥自転車点検・安全運転の指導を徹底している。	A 部活動加入率は全学年で86%と高く、学校行事も盛り上がり、特別活動全体を通して充実した生活を送っている。全体として生徒は落ち着いて勉学に励んでいる。頭髮・服装違反者の指導、チャイム着席を徹底している。遅刻指導数が5人から11人に増え、校門指導回数を増やす等の対策が必要である。生徒の実態に即した指導を引き続き行っていく。
3	広報の充実により、地域の評価は高く、保護者、地域、中学生からの本校に対する期待は非常に大きい。	生徒募集と広報の充実、校内外の美化の推進	①HPの学校活動の頻繁な更新による情報発信の充実 ②「ときわ樹だより」の市内全家庭回覧 ③「深一高お知らせメール」による保護者への情報提供 ④校内外における学校説明会の充実 ⑤校内外の美化 ⑥積極的な地域活動への参加	①HP年300回以上の更新 ②広報誌「ときわ樹だより」年間2回の発行 ③学校行事の情報提供 ④学校説明会個別相談会の開催とネット参加申し込みの実施 ⑤美化活動の取組 ⑥地元や深谷市関連行事への積極的な参加	①HP285回更新(1/23現在) ②「ときわ樹だより」7月と3月の2回発行予定 ③深一メールは21件送信し、体育祭、修学旅行等の学校行事やPTA行事の案内を連絡した。 ④学校説明会は年4回行い、12月は個別相談を実施した。ネット申し込みも円滑に実施できた。 ⑤幡羅中学校と連携し国道17号グリーンサポート、校内花植え(PTA、家庭クラブ、JRC)2回実施 ⑥深谷市フラワーフェスタに参加、小学校との交流(家庭クラブ、吹奏楽部、陸上部)を実施(常盤小、岡部西小)	A HP更新も年度末には300回を超えるはずである。部活動のページや中学生向けのページも充実してきた。学校行事等の活動報告についても更に充実していきたい。学校説明会のネット申し込みは来年度も続けて実施していき、説明会参加者数増を目指したい。校内外美化活動に取り組み、教育環境の美化が進んでいる。地元との交流を通じて生徒に充実感が芽生えている。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成26年 2月12日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
生徒の規律ある学校生活を踏まえた授業態度に好評価を得るとともに、家庭学習時間の増加要因や学力向上の判断基準についての質問があった。また、より一層の学力向上に向けて宿題を課す等教職員の取組に期待していることが伺えた。生徒からは、具体的な学習の動機付けの話があって学力向上にむけて対応策の一助が示された。	
キャリア教育の取組について質問があり、本校卒業後の進路選択を重視しており進路指導に期待していることが伺えた。ただ合格するための指定校推薦はよくない。オープンキャンパス等に参加して自ら確認することが大切であるとの発言があった。	
部活動を途中退部した中学生の勉強離れの指摘があり、継続することの重要性について主張があった。生徒に対する質問と回答から学校行事のあり方に一考が求められた。自転車の危険な運転状況を踏まえ、より一層の安全運転指導を期待していることが示された。また、それを注意することについては、言い方に注意するなどして子供たちを地域で育てる視点が社会に求められているとの指摘があった。	
学校説明会のネット申し込みの仕組みや稼働状況についての質問があった。また、参加希望状況のフィードバックを望んでいることも伺えた。	